眠れる市民パワーの結集を 地域力のさらなるアップを目指し

ボランティア団体への参加、 録等の働きかけの内容は。 ②定年退職後の地域デビュー 徹議員 (公明) 各種 登

場を提供しているほか、NPO つながるためのきっかけとなる を開催し、幅広い世代が地域と 市長 ①市民活動交流サロン等 をより積極的に推進すべきでは。 の参加につながっている。 ^エスタの開催などが市民活動 ②公民館ではシルバー大学や

イレと案内板の設置を 水 緑 道

等について工夫していく。

き続き、各種団体と連携して地

(参加の機会や情報提供の方法

シニア講座を開設している。引

として、また都に要請するなど すいところにトイレや案内表示 表示もないと思うが、市の施策 板等を早急に設置してはどうか。 してトイレ設備が少なく、案内 て玉川上水緑道からわかりや 全体と



充議員(共産)

玉川上水緑道への工作物

を考えられないか。 ーンロードのトイレ整備状況は。 ②ランナーズロッカーの設置

③ハーフマラソンの実施を検

用してもらうことで、市として 等の方策を検討していく。 ある公園等の案内の掲示を行う 内表示板は緑道沿いにトイレの 新たな設置は考えていない。案 トイレは公園等の既存施設を利 あることから、関係機関と調整 の設置は法令や制度上の制約が を図りながら進める必要がある。

指定管理者制度の施設を活用して 元気を創出するまちづくりを

時間はホールで催し等があれば 等による市の活性化に指定管理 日向美砂子議員(生ネ) は検討していない。また、営業 営事業者の判断となるため変更 や営業時間は利用者目線でより 民文化会館のレストランの名称 施設を戦略的に活用すべきでは。 工夫ができるのではないか。 ②観光まちづくり振興プラン ①名称はレストランの運

地域の活性化も期待できること 絡会と指定管理者との連携によ から、その方策を研究していく。 時間を延長して対応している。 ②仮称小平観光まちづくり連 民間の専門性等を発揮した えている。

練習コースとして活用しよう グリーンロードをフルマラソン

小林洋子議員(フォ) ①グリ

討してほしいが、どうか。 なトイレの数は36か所である。 市長 ①小平グリーンロードマッ プに表示している一般利用可能

5



置は考えていない。 あることから、現在のところ設 ②民間で設置している施設も

だいら市民駅伝大会のさらなる 充実を図る方法で検討していく。 本年で36回目の開催となったこ ③新たな事業の実施ではなく

も介 護 ح ح 進 医 め 療 る တ た連 め 携

が困難な人には、定期的な医師 市長 ①心身の状況等から通院 うな取り組みが行われているか。 在宅医療が必要だが、見解は。 の訪問等による対応が必要と考 進協議会拡大協議会ではどのよ さとう悦子議員(生ネ) 介護状態等で疾病のある人には ②小平市在宅医療介護連携推 ①要

市の地域課題についてのグル 護の連携に関する研修のほか、 プワーク等を開催している。 ②多職種による在宅医療と介

支 発 援をさらに充実すべき 障 が 児 者 の

ターの設置が必要だが見解は。 拠点としての発達障害支援セン ②医療関係者にプラスして教 徹議員 (公明) ① 総 合

> 委員会や通級指導学級担任研修 会等で国立精神・神経医療研究 教育長 ②特別支援教育専門家 ら、一元的に相談を受け付ける 市長 ①既存施設の更新等の機 ことができる拠点整備を進める。 会での検討課題として捉えなが

修内容の充実に努めていく。 センター等の医療関係者と連携 しており、今後も研修体制と研

る在宅医療・介護連携推進事業 松岡 篤議員 (政和) 保険制度の地域支援事業におけ への訪問医療の充実に向けて 真に手を差し伸べるべき市民 介護

護連携推進協議会の充実を図り 多職種連携研修会や、 要性があると考えるが、見解は。 て市が積極的に役割を果たす必 能させるために在宅医療に関し 会等を開催している。 ②地域包括ケアシステムを機 ①27年度は在宅医療・介 拡大協議

取り組みを進めていく。

を実感できる貧困対策を 人としての豊かさとあたたかさ

を通して制度や手続などを記載 教育長 ①保護者に毎年、学校 した自立支援ができないか。 ②市内の児童養護施設と連携

育関係者も含めた研修受講体制 ともに市報や教育委員会だより

と十分に連携して支援している。

を安心ステーションに

設置についての検討状況は。 ②高齢者の認知症に対してコ

の構築が重要であると認識して おり、小平市医師会を中心とし **た関係機関と連携し、積極的に** ②在宅医療と介護の連携体制

知されているか。 育の支援に関して、就学援助は 日向美砂子議員(生ネ) ①教 全ての保護者に正しい情報が周

したパンフレットを配付すると

ついて、市及び関係機関が施設 や退所後に支援が必要な児童に 市長 ②要保護児童対策地域協 に掲載し、周知している。

市内のコンビニエンスストア

山岸真知子議員(公明) ンビニエンスストアへのAED 1

者の身元不明者の発見、通報等 2社からは各店舗の判断となっ 見守り等に必要な社会資源の1 をしてもらっており、高齢者の 日頃から市や警察に認知症高齢 の事例等を参考に研究していく。 置条件等課題があるので先例市 取り組む必要性について見解は。 つと認識している。 ていると聞いている。費用や設 ②コンビニエンスストアには ①コンビニエンスストア

高齢化が進むシルバーピア 現状と課題について

山岸真知子議員 (公明) ①入 居者の高齢化に伴う課題は。

検討すべきだが、見解は。 など、自立した生活ができなく きるよう生活協力員への研修の い課題であると認識している。 なった人への対応は避けられな 体制整備や委託料の見直し等を ②入居者の超高齢化に対応で ①認知症が進行している

> いるため、委託料を含め業務内 容の見直し等を研究していく。

認知症を知って安心して暮らそう

見守りができるよう、校区エリ 平野ひろみ議員 (生ネ) アで模擬訓練を行ってはどうか ンティアなどの研修を用意し、 らうための今後の取り組みは。 講者の知識を地域で活用しても ②当事者の気持ちに配慮した ①受講者には認知症ボラ

ンビニエンスストアと連携して り組みと捉えているので、認知 業の担い手として地域で活動 みに向けて検討していく。 症対策会議等を行う中で取り る体制作りに有効かつ重要な取 介護予防・日常生活支援総合事 てもらえるよう努めていく。 ②地域で認知症高齢者を見守

市の認知症予防施策について問う

滝口幸一議員 (フォ) 認知症予防への認識は。 ① 市

かけなどとともに認知症への 策、実施を検討している施策は。 ②現在実施中の認知症予防施 ①日常からの体への働き



認知症予防教室

- キング編) の様子 (ウォ

②学童クラブでの障害児の入

活を基本に

指導員の体制や学

識や理解が必要であり、介護予 がると認識している。 防そのものが認知症予防につな

る講演会を開催している。今後、 普及啓発に努めていく。 これらの事業をさらに充実させ や予防と早期発見をテーマとす り組みのほか、認知症予防講座 取り入れた認知症予防教室の取 ②ウオーキングプログラムを 必要な対応を行っていく。 限り利用者の希望に沿えるよう ては法の趣旨を踏まえ、できる

介護で高い 度が後 齢者の尊厳を守れ 退しても必要な

考慮し慎重に検討を進めていく。 を聞いているが、その対策は。 も通所介護の食事代助成と同様 事業の推移や近隣市の動向等を 継続している。今後の方向性は から時限的に開始し、現在まで は市の独自事業として平成19年 市長 ①通所介護の食事代助成 問介護について事業者撤退の話 の助成を行うべきではないか。 規模多機能型居宅介護利用者に 木村まゆみ ②地域密着型の夜間対応型訪 ②管理者が退職し、基準上必 議員(共産)

業再開を引き続き要望していく。 っている。 早期の人員確保と事

要な人員を確保できず休止とな

障害者差 向け た市の取り組みは 別解消法施行に

してはどうか。 差別解消支援地域協議会を設置 橋本久雄議員(緑) ①障害者

いる。協定の有無にかかわらず

情報等の通報を要請していく。

できないか検討している。 中で障害者差別解消支援地域協 市長 ①地域自立支援協議会の 所制限は法に反しないか。 議会の趣旨 ②障害のない児童との集団生 に沿う対応の工夫が 事業者には日頃の高齢者の見守

を考慮し定員を2人としている。 童クラブ室の規模から安全面等 学童クラブの事業運営に当たっ

現 状 と 今 後 に つ い て小平市の認知症者支援の

包括支援センターでの対応は。 永田政弘議員(政和) よる見守りができないか。 ②認知症徘回者通知メールに

知症カフェなども開催している。 認知症高齢者が関係する緊急 に徘回高齢者への対応を充実す 時保護や介護サービスを利用し 介護支援専門員の役割のほか、 る観点から研究していく。 実施している。メールを活用し 市長 ①要支援認定者に対する た見守り事業については、さら て、徘徊高齢者家族支援事業を た対応を行っている。また、認 ②徘回高齢者への対応策とし

住みなれた小平でいきいきと 笑顔で暮らし続けるために

民間事業者と協定を締結してお り、新たに3社と協議を進めて 市長 ①都水道局のほか3社の 津本裕子議員 (公明) ①民間 する協定について今後の展開は。 事業者等との高齢者見守りに関 どのような取り組みがあるか。 ②認知症早期発見について、

訪問や受診支援をしている。 のアウトリーチチームと連携し 拠点型認知症疾患医療センター よる相談会等を行うほか、地域 ②認知症コーディネーターに